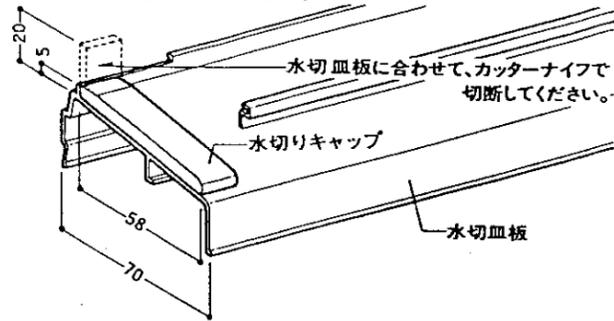


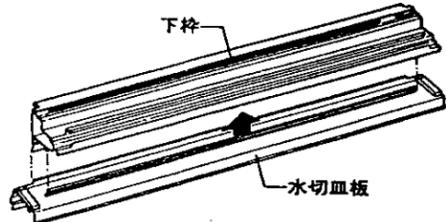
■取付け順序

- 水切りキャップ(別売り部品コードA3X06)を水切皿板の両端に取り付けてください。

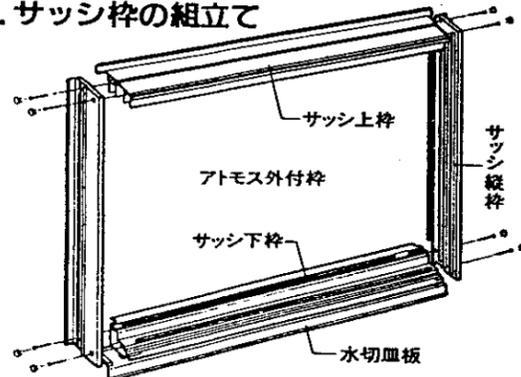


1. サッシ下枠への水切皿板の取付け

- サッシ下枠へ水切皿板を取り付けます。
- ※ 水切皿板側の取付け穴(φ2.5)は、ドリルであけてください。(ピッチ及び位置は、下枠の釘穴に合わせます。)

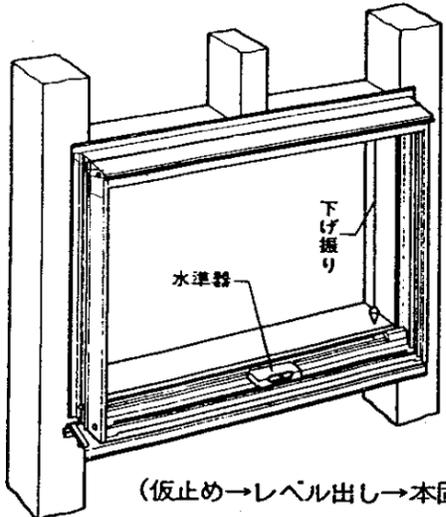


2. サッシ枠の組立て



3. 開口部への取付け

- 躯体開口部へサッシ枠を取り付けます。



■お願い

- 本製品はアトモス外付専用です。雨戸サッシアトモス外付の場合は、別途ご注文ください。
- 水切皿板の規格サイズは5種類(呼称30,45,60,90,120)です。
- 規格サイズ以外は、別途注文になります。規格サイズを切り詰めて使用する場合は、水切皿板の切断の項と〈表-1〉をご覧ください。
- 水切皿板の取付け穴は、サッシ枠を組み立てる前にあけてください。
- 躯体に取り付けた後、指定の個所に必ずコーキング処理をしてください。

■取付け詳細図

※ 水切皿板は、下枠よりも73mm長くなっています。下枠に取り付ける場合は、両端を正確に振り分けてください。(図-1)

1. 下枠と水切皿板をはめ合わせ、釘穴位置をけがきませ。
2. 水切皿板を抜き取り、ドリルで2.5mmの穴をあけます。(図-2)
3. 下枠と水切皿板をはめ合わせ、ネジで固定します。(図-3)
4. サッシ上・下枠と縦枠を組み立てます。
5. サッシ枠を躯体開口部にのせ、水平・垂直を確認した後、木ネジと釘で固定します。(図-4)
6. 指定の個所にコーキングで処理します。(図-5)

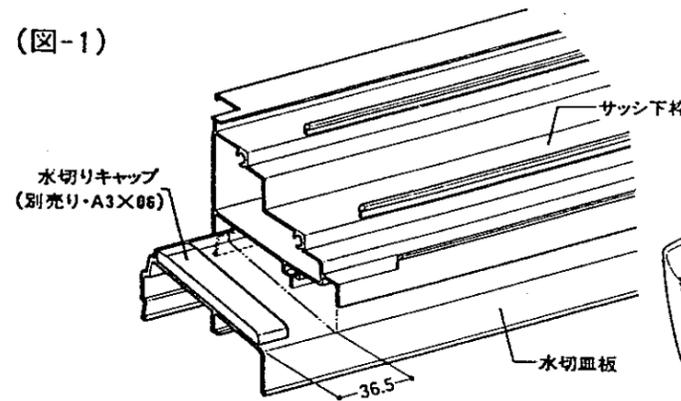
■水切皿板の切断寸法(規格外サイズの場合)

- 〈表-1〉の太枠内が規格サイズです。規格外サイズの場合は、指定の寸法に従って切断してください。さらに上部フィンを両端とも40mm切り欠きます。(図-6)
- 水切皿板必要寸法割出し公式
 $W(\text{サッシ基本寸法}) + 98 \dots (\text{窓・テラス})$
- ※ サッシが特注製品の場合は、上記公式で水切皿板の寸法を算出してください。
- ※ サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。

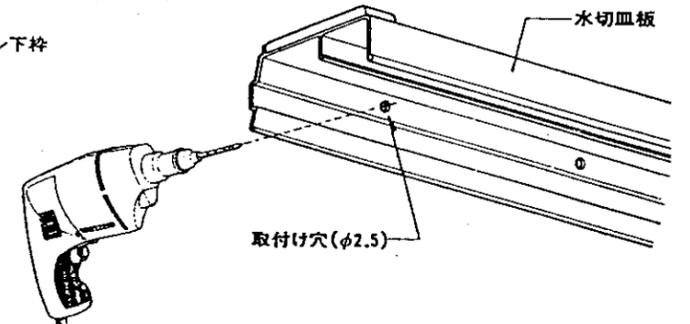
■水切りキャップのお勧め

- 防水をより確実にするため、別売りの水切りキャップをご利用ください。水切皿板末端からの壁内漏水を防止します。

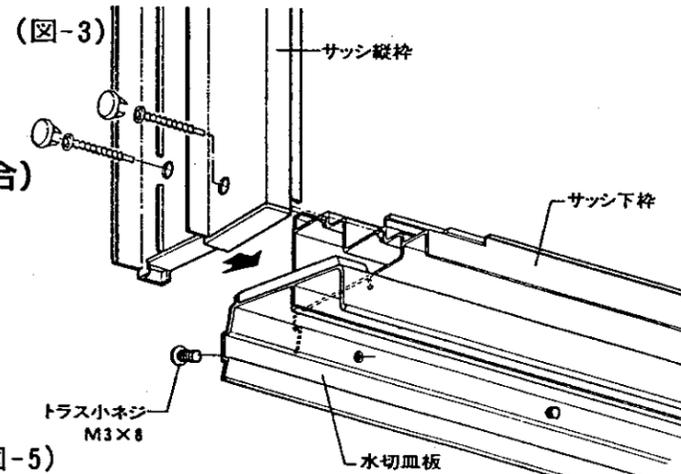
(図-1)



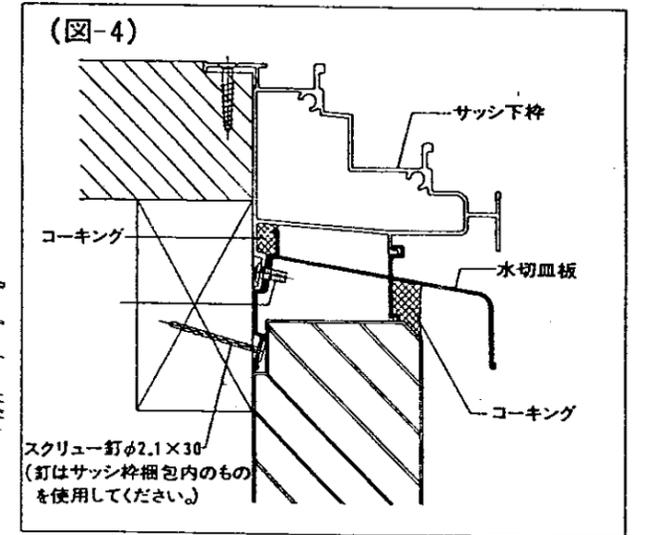
(図-2)



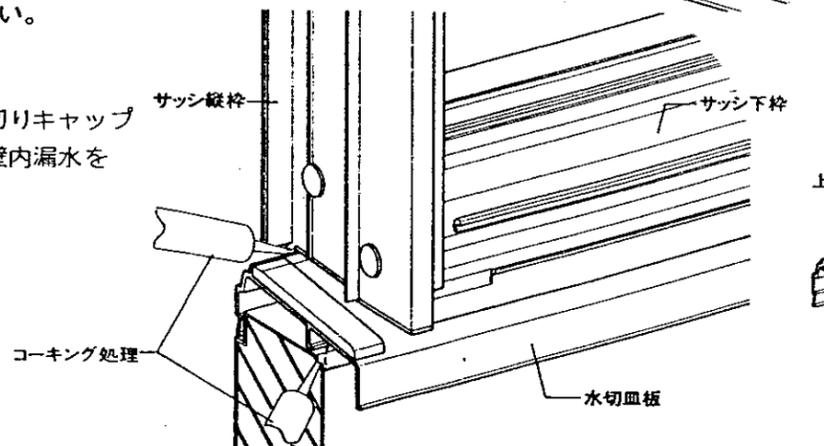
(図-3)



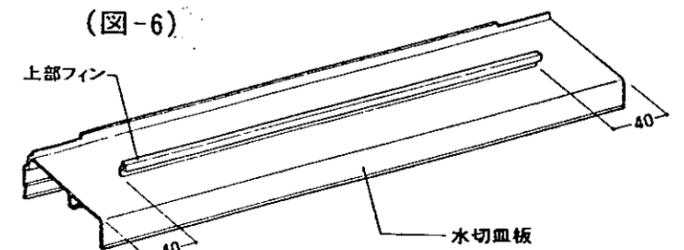
(図-4)



(図-5)



(図-6)



※ 切り詰めの場合は、端部を切り欠きます。

〈表-1〉 単位mm

間口	間 東 間					間 西 間				九 州 ・ 四 国 間				越 前 ・ 山 陰 ・ 西 讃 間						
呼称 W(尺)	285	30	45	60	90	120	46	63	95	126	28	44	588	59	91	122	58	89	119	61
水切皿板切断寸法	862	910	1365	1820	2730	3640	1485	2015	2969	3924	955	1433	1903	1910	2865	3820	1820	2840	3749	1962